

まるっと

縄文

100%!

2018年 はるのてんじ

「JOMON ワンダーランド」

4月21日（土）～6月17日（日）

～JOMONワンダーランド～

むかしの人が^す住んでいたお家や^{うち}ゴミ捨て場、^す死んだあとの^はお墓などの暮らしのあとが^{のこ}残されている場所を^{いせき}遺跡と言います。この遺跡を^{はっくつちようさ}発掘調査をすると、^{とうじ}当時の人々の^{ひとびと}生活が分かってきます。

それでも、やっぱりむかしむかしのことなので、^{ふしぎ}分からないことも不思議なことも、^なたくさんあってナゾだらけ。『まほろん』では、そのナゾを^{けんきゆう}解くために^{つづ}研究を続けています。

「^{どうぶつ}動物を^か狩る、^{しよくぶつ}木の実や^{あつ}植物などを^{あつ}集める、^く魚や貝などを^くとる」ことで暮らししていた^{じようもんじだい}縄文時代が、^いどうして長い間^{つづ}続いたのでしょうか？

食べ物や^{どうぐ}道具、ムラでの生活を通して、縄文時代の人々の^{くらし}暮らし

JOMON ワンダーランド を見てみましょう。

ようこそ、JOMON ワンダーランドへ。

ANIMAL

土器に付いていた動物のカオ▼
(富岡町本町西A遺跡)



KOKUYOSEKI

黒曜石で作ったヤのサキ▶
(相馬市狭平遺跡)



▲ドグウ
(石川町小田口D遺跡)



FUNE

▲木をくりぬいて作ったフネ
(新地町双子遺跡)



石で作ったオチンチン▶
(磐梯町角間遺跡)



SEKIBOUBOU



DOBAN

▲ねん土で作ったカオ
(小野町沢目木B遺跡)
▼ねん土で作ったイヤリング
(浪江町田子平遺跡)



MIMIKAZARI

DOKI

▲縄文ドキ
(本宮市高木遺跡)

KAO

▲土器についていたカオ
(磐梯町・猪苗代町法正尻遺跡)

HISUI

◀ヒスイで作った大きなネックレス
(石川町七郎内C遺跡)



～縄文のムラのはじまり～

むかしむかし、まだ寒かった1万6,000年前ころには、縄文人は食べ物をもとめて移動生活をしながらも、土器を使い、弓矢で動物を狩る生活をはじめたようです。

今から1万年前ころには、同じ場所で生活できるおうち(竪穴住居)を作り、みんなで集まって生活するようになります。これがムラのはじまりです。

大きな縄文土器や重い石の道具は、移動する生活には、むいていません。これらの道具は、同じところに住む定住生活から生まれた道具なのです。



～縄文のムラの暮らし～

1万1,000年前ころから、少しずつ気温は上がりはじめ、ムラのまわりの植物もあたたかい気温にあうものに変ってきました。秋になると紅葉してドングリなどの実をつけ、冬には葉が落ちる木々の森が広がりました。植物の変化とともに、森に住む動物も変わりました。

ムラのまわりの森が、豊かになっていきました。

少しずつ人口が増えて、ムラは大きくなります。ムラの中は、家をつくる場所、みんなが集まる広場、道やゴミ捨て場、お墓などに区分されていました。



まほろん 野外展示「縄文時代の家」

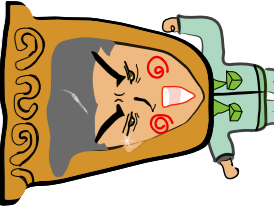
* 縄文時代の前は、「旧石器時代」と呼ばれているよ。まほろんの足元でも、2万年以上前の石器が見つかっていて、まほろんに展示されているよ。

* 福島県域では、今から5,400～4,500年前ころが縄文時代のなかでムラが最も大きく、たくさんあった時期だということが分かっています。

なぜ?・どうして? がいっぱい! 「縄文時代の

7つのふしぎ?」

魅力いっぱいの縄文時代、
ふしぎの世界
『JOMON ワンダーランド』
へ出発だ!



1 どうして? やさしい縄文フード?

縄文時代は、生きること、食べ物を集めることが仕事。自然の恵みを大切にして、季節に合わせた生活をしてきたよ。森や川、海では、たくさんの木の実や山菜、魚をとって生活していたよ。

でも、この自然の恵みを取りすぎることなく、必要な分だけ集めていたんだ。

バランスよく食べることは、自然にも縄文人自身にもやさしかったんだね。



(磐梯町角間遺跡) (南相馬市小池田遺跡)
ねん土で動物やキノコを作って、たくさんとれるようにおねがいがしたのかな。

2 なんだろう? 縄文土器ってなに?

縄文時代に使われた土器を縄文土器と言うよ。表面に、縄を転がしたもようがついてるからだよ。

土器を観察すると、土器の外と内に黒くなっているものが見えるよね。外側の黒いのはスス。木を燃やして黒くなったところ。内側の黒いのはコゲ。お料理を煮込んでこげたところだよ。スープを煮込んだり、ドングリのアク抜きなどをした、大活やくの調理具だね。現代で言うと、お鍋の役割だね。



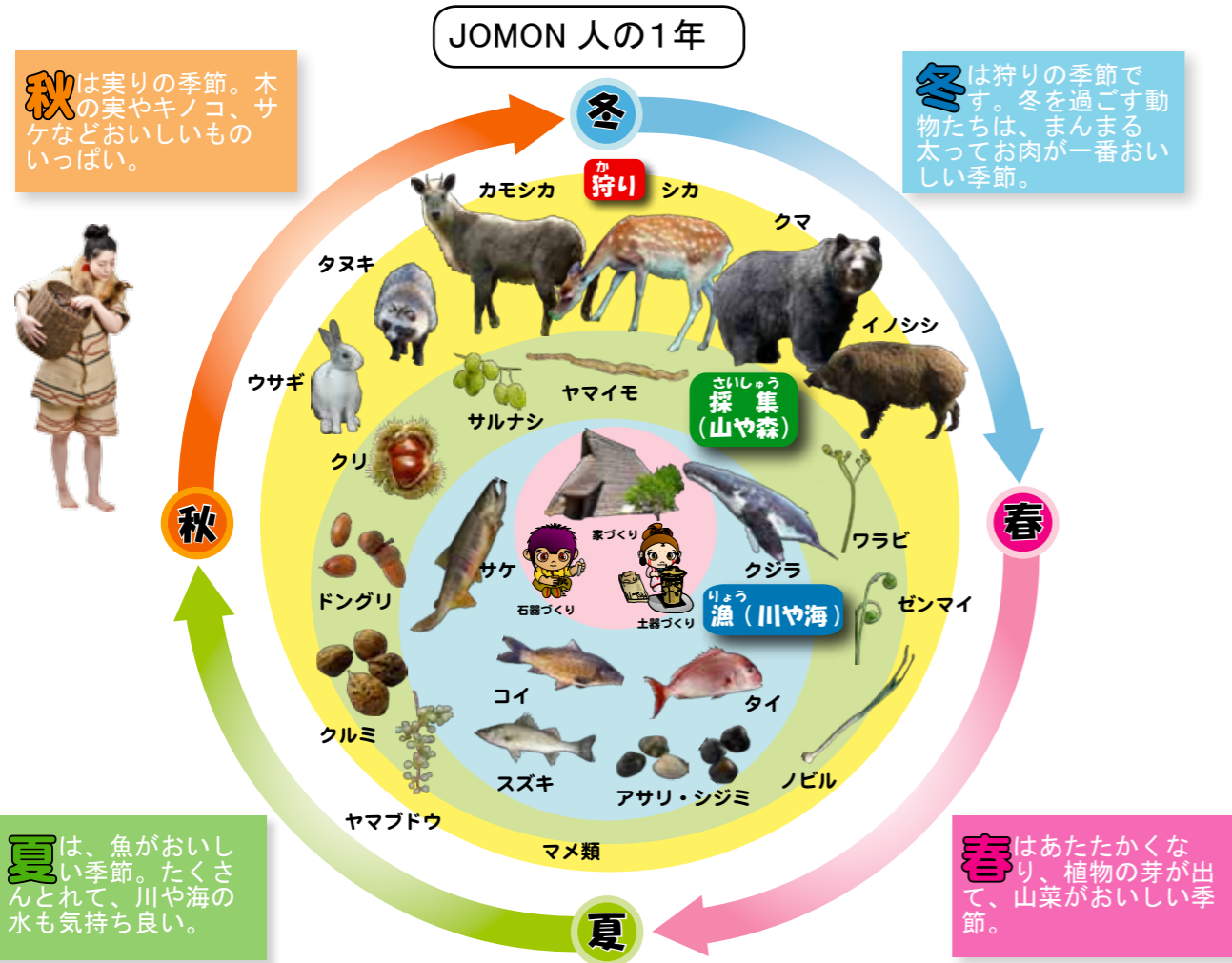
こんな感じで、お料理したのかな

3 なんだろう? 縄文土器の形ともよう

縄文土器を観察すると、同じ形やもようはないことに気づいたかな?

1万年以上も続いた縄文時代のなかで、縄文土器は、少しずつ形やもようが変化していったんだよ。トンガリ底の土器から、平らな底の土器に変化していったよ。かんたんな形の土器から、大きな飾りがついたり、人や動物の形の飾りのついた土器が作られるようにもなったよ。

地域によっても、それぞれ好きな形やもようが作られていたよ。言わば、「ご当地もの」だね。



かんさつ POINT!



(浪江町田子平遺跡)

土器の外側についたススと、内側に付いたコゲは、どのようにちがうかな? かんさつしてみよう!

- ### 1. じょもメモ
- 土器に付いたコゲを調べると、
 - ①何年前に使われた土器なのか?
 - ②何を煮炊きしていたのか? が分かってきます。
 - まほろんで調べた縄文土器では、植物を多く煮炊きしていたことがわかってきました。福島県内の縄文人は、植物メインのお食事を多く食べていたようです。



いろいろなかたち かんさつ POINT! いろいろなもよう

* 発掘調査で見つかった縄文人の骨を調べたら、どのような食べ物を食べて体がたくられたのか(成長)が分かってきました。

* これまでの研究で、「いつ」・「どこに」・「どんな」縄文土器があるのか、日本全国でわかるようになってきました。

4 どうして? 石をえらぶの?

石を利用した道具を石器と言うよ。石器には、やりや弓矢などの狩りの道具、ものを切ったり穴をあけるための道具、木を切るオノやクワなどの土木具、木の実や植物をお料理する道具など役割が分かれていますよ。

それぞれの道具に合わせて、使う石を選んでいたよ。縄文人は、「石を見分ける」能力があったみたい。割るとガラスのように鋭くとがる石や平らに割れる石、カタい石など、石の性質をよく見て道具を作っていたことがわかるよ。



木の実などを割ったりつぶしたりする道具(石ざら・すり石)
(福島市獅子内遺跡)



木を切る道具(石オノ)
(レブリカ)



黒曜石の弓矢の先
(南相馬市荒井遺跡)



アスファルトが付いた弓矢の先
(飯館村羽白C遺跡)



土器に入ったアスファルト
(磐梯町角間遺跡)

ガラスみたいにとがるよ!

コッチは、大きくておもしろいよ。

丸くて手にもちやすいね。



ワタシはだあれ?

6 どうしたら? 土偶は、だあれ?

ドグウは、「ねん土」で作られた「人の形をしたもの」という意味で土偶と書くよ。縄文時代に作られたよ。土偶のモデルは、だあれ?

観察すると、おっぱいが見えるよ。ポッコリおなかの中に赤ちゃんがいるようにも見えるね。でも、人ではなくて神様のようなモノをイメージしたとも考えられているよ。実は、土偶のモデルは、はっきりと分かってないんだ。暮らしや家族の安全について、おいのりするために、作った道具かもしれないね。

かんさつ POINT!

2. じょもメモ

ドグウには、当時の縄文人のくらしや、すがたをイメージできるヒントが、かくされているみたい。アクセサリーやヘアスタイル、服のようなものもあるよ。



顔に線があるよ。



耳に何かついてるよ?



せっきをつくっているぞ!



北海道で見つかるアオトラ石でできた石オノ
(浪江町中平遺跡)



5 どうやって? はこぶ・集める・交流する

石がムラの近くにはない時は、遠くから手に入れたよ。たとえば、アクセサリーで使うヒスイというミドリ色の石は、新潟県の糸魚川地方で見つかる石だよ。矢の先やナイフに使う黒曜石は、新潟県や栃木県那須地方からはこんだみたい。

どのようにして集めたのかな? 歩く! 走る! 発掘調査では、丸木舟が見つかることもあるよ。舟だと、重くてもたくさんのモノをはこべるね。

石器からは、このようにして各地のムラとの間で交流があったことがわかるんだよね。



新潟県のヒスイで作ったネックレス
(磐梯町・猪苗代町法正尻遺跡)



コハクの玉
(天栄村七郎内C遺跡)

いろいろなドグウ

およそ 7千年前
古いドグウのはじまりは、顔がないね。おっぱいはあるね♡

およそ 6千年前
顔がへこんでいるぞ! 平べったいくて、大きくなったよ。

およそ 5千年前
立つドグウがとうじょう! 目・はな・くちがはっきりしたね。

およそ 4千年前
あたまの形がハートやさんかく。足はしっかりガニマタ(笑)

およそ 3千年前
目や頭のかざりがオモシロい。かたパットもあたり... 平らな粘土板に顔がついている土版もとうじょう!

7

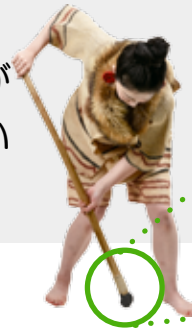
ホント?

縄文時代の歴史は変わる?

ボクたちが習っている歴史とお父さんやお母さんが子どものころ習った日本の歴史とは、ちょっと変わってるんだよ。理由は大きく2つ。

- ①発掘調査で、新しい発見があったから。
- ②新しい科学技術によって、今まで分からなかったこともわかるようになってきたから。

たくさんの研究で、新しい発見があり、「歴史は変わる」んだね。キミたちが大人になった時には、さらに変わっているかも・・・



うすく平らに割れる石だね。

土をほる道具 (石のスコップ) (南相馬市赤柴遺跡)

たとえば… JOMON チェンジ2

縄文時代は、1万2,000年前ころからと言われていたよ。最近では、1万6,000年前ころには、縄文土器が使われていたと考えられているよ。

1万6,000年前 1万2,000年前



縄文時代

4,000年も長くなった?

縄文時代

科学的に調べることによって、土器が使われた年代が分かってきたからなんだね。



パパ ママのころ



ボク ワタシのころ



まほろん きくち館長から ~キミたちにメッセージ~

縄文時代は、自然を上手に利用しながら、知恵と技術で生活していました。ボクたちは縄文人から、自然を大切にすることを受け継いで暮らしています。

キミたちには、縄文人の生活はどのように見えましたか?

縄文人は、どのようなことを考えて暮らしていたのでしょうか? 大変なことでも楽しいことでも、きっととてもかなしいことだったでしょう。

歴史も常識も、時代や地域で少しずつ変わります。また、科学技術の進歩によって、新発見もどんどん出てくると思います。歴史を学ぶことは、これから生きるキミたちにとって、とてもとても大切なことです。キミたちが大きくなって、新しい研究や発見をすることで、歴史を、そして教科書すら書き変えることがあるかもしれません。 なんだかワクワクしてきませんか?

<表紙>
左上: 磐梯町・猪苗代町法正尻遺跡出土ヒスイ製大珠 国指定重要文化財
右上: 下郷町南倉沢遺跡出土獣面突起
左下: 郡山市荒小路遺跡出土土偶
右下: 磐梯町・猪苗代町法正尻遺跡出土土器 国指定重要文化財

2018 はるのてんじ

JOMON ワンダーランド

(平成30年4月21日発行)

開催期間: 平成30年4月21日~6月17日
編集・発行: 公益財団法人福島県文化振興財団
〒961-0835 福島県白河市白坂一里段 86
TEL: 0248 (21) 0700 FAX: 0248 (21) 1075
ホームページ: まほろん 検索

